



ステップ5 第一章の復習

学習日

課題文

「赤とんぼ」(つづき)

暑かった夏は、いつの間にかすぎさってしまいました。

朝顔は、垣根にまきついたまま、しおれました。

鈴虫が、涼しい声でなくなりしました。

今日も、赤とんぼは、おじょうちゃんに会いにやって来ました。

赤とんぼは、ちよつとびっくりしました。それは、いつも開いている窓が、みなしまっているからです。

どうしたのかしら？ と、赤とんぼが考えたとき、玄関から誰かとび出して来ました。

おじょうちゃんです。あのかわいいおじょうちゃんです。

けれども、今日のおじょうちゃんは、悲しい顔つきでした。そして、この別荘へはじめて来たときかぶつた、赤いリボンの帽子を着け、きれいな服を着ていました。

赤とんぼはいつものように飛んで行って、おじょうちゃんの肩にとまりました。

「あたしの赤とんぼ……かわいい赤とんぼ……あたし、東京へ帰るのよ、もうお別れよ。」

おじょうちゃんは、小さい細い声で泣くように言いました。

赤とんぼは悲しくなりました。自分もおじょうちゃんといっしょに東京へ行きたいなと思いました。

そのとき、おじょうちゃんのお母さんと、赤とんぼにいたずらをした書生さんが、出てまいりました。

「ではまいりましょう。」

みな、歩き出しました。

赤とんぼは、やがておじょうちゃんの肩をはなれて、垣根の竹の先にうつりしました。

「あたしの赤とんぼよ、さようなら——」

かわいいおじょうちゃんは、なんべんもふりかえっていいました。

けど、とうとう、みな姿は見えなくなってしまうたのです。

もう、これからは、この家は空き家になるのかな——赤とんぼは、しずかに首をかたむけました。

淋しい秋の夕方など、赤とんぼは、尾花の穂先にとまって、あのかわいいおじよ
うちゃんを思い出しています。

問一 次の文の主語と述語を答えなさい。

暑かった 夏は 一つの 間にか すぎさってしまいました。

答え 主語

述語

問二 次の文の主語と述語を答えなさい。

今日も 赤とんぼは おじょうちゃんに 会いに やって来ました。

答え 主語

述語

問三 次の文の — 線はそれぞれの言葉にかかっていますか。

それは ①いつも 開いている 窓が ②みな しまっている からです。

答え ①

②

問四 次の文の — 線について、あとの(1)〜(3)の問いに答えなさい。

この 別荘へ ①はじめて 来た とき ②かぶった 赤い リボンの
帽子を ③着け きれいな 服を 着ていました。

(1) — 線①「はじめて」はどの言葉にかかっていますか。

答え

(2) — 線②「かぶってた」はどの言葉にかかっていますか。

答え

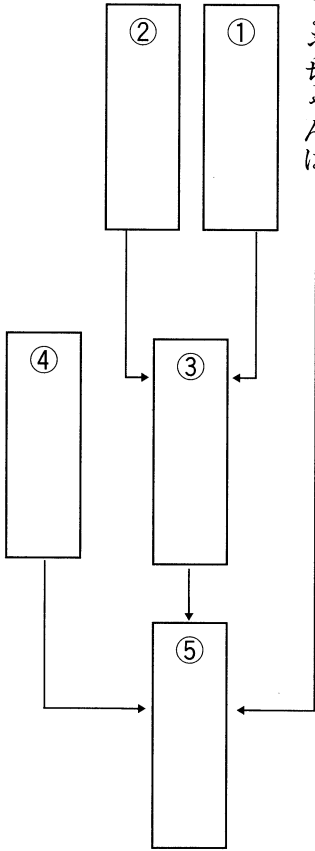
(3) —線③「服を」にかかっていく言葉はどれですか。

答え

問五 次の文を図にしてみました。に入る言葉を書きなさい。

おじょうちゃんは 小さい 細い 声で 泣くように 言いました。

おじょうちゃんは



問六 次の文を図にしなさい。

かわいい おじょうちゃんは なんべんも ふりかえって いました。

問七 次の一文の要点を二十五字以内でまとめなさい。

淋しい秋の夕方など、赤とんぼは、尾花の穂先にとまって、あのかわいなおじょうちゃんを思い出しています。

答え

問八 次の文について、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

今日も、赤とんぼは、おじょうちゃんに会いにやって来ました。赤とんぼは、ちよつとびっくりしました。それは、いつも開いている窓が、みな()からです。どうしたのかしら？ と、赤とんぼが考えたとき、玄関から誰かとび出して来ました。おじょうちゃんです。あのかわいなおじょうちゃんです。けれども、今日のおじょうちゃんは、悲しい顔つきでした。そして、この別荘へはじめて来たときかぶってた、赤いリボンの帽子を着け、きれいな服を着ていました。

(1) () に入る六字の言葉を考えて答えなさい。

答え

(2) ——線に「玄関から誰かとび出して来ました」とありますが、誰がとび出して来たのですか。

答え

--

赤とんぼはいつものように飛んで行って、おじょうちゃんの肩にとまりました。
「あたしの赤とんぼ……かわいい赤とんぼ……あたし、東京へ帰るのよ、もうお別れよ。」

おじょうちゃんは、小さい細い声で泣くように言いました。
赤とんぼは悲しくなりました。自分もおじょうちゃんといっしょに東京へ行きたいなど思いました。

そのとき、おじょうちゃんのお母さんと、赤とんぼにいたずらをした書生さんが、出てまいりました。

「ではまいりましょう。」

みな、歩き出しました。

赤とんぼは、やがておじょうちゃんの肩をはなれて、垣根の竹の先にうつりました。

「あたしの赤とんぼよ、さようなら——」

かわいいおじょうちゃんは、なんべんもふりかえっていいました。

問九

この文の——線に「小さい細い声で泣くように言いました」とありますが、その理由を次のようにまとめてみました。(①) (②) (③) を指定された字数でうめなさい。

- () (①)十五〜二十字 () ために、赤とんぼと () (②)十字以内 () の
- で、() (③)五字以内 () 気持ちだったから。

答え

①

②

③
